

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2020-85943(P2020-85943A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-215002(P2018-215002)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/18 (2021.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/18 D

H 0 4 N 5/232 9 3 9

H 0 4 N 5/232 4 5 0

H 0 4 N 5/225 0 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月27日(2021.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静止画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて静止画の撮影を行うように制御し、

動画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて動画の記録を開始するように制御する制御手段と、

静止画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、計時前には表示されていない、静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示し、

動画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、前記静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムとは異なる表示形態のアイテムであって、計時前には表示されていない、動画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示するように制御する表示制御手段と、を有することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

静止画撮影モードと動画撮影モードを含む複数の撮影モードのいずれかに切り替える切替手段を有し、

前記制御手段は、

前記静止画撮影モードにおける撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて静止画の撮影を行うように制御し、

前記動画撮影モードにおける撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて動画の記録を開始するように制御する

ことを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記表示制御手段は、

前記静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを、カウントダウンの

残り時間が所定時間に達したことに応じて非表示とし、

前記動画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムによるカウントダウンを、カウントダウンの残り時間が前記所定時間に達しても継続するように制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記動画のセルフタイマー撮影において、前記静止画のセルフタイマー撮影よりも大きいサイズでカウントダウン用のアイテムを表示するように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記静止画のセルフタイマー撮影と、前記動画のセルフタイマー撮影とについて、セルフタイマーの時間が個別に設定可能であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記静止画のセルフタイマー撮影と、前記動画のセルフタイマー撮影とで、カウントダウンの音出力が異なることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記動画のセルフタイマー撮影では、カウントダウンの途中までピープ音を鳴らして最後に言語音を発し、前記静止画のセルフタイマー撮影では、カウントダウンの最後に言語音を発しないことを特徴とする請求項 6 に記載の電子機器。

【請求項 8】

前記表示制御手段は、前記静止画のセルフタイマー撮影と前記動画のセルフタイマー撮影とでカウントダウン用のアイテムの背景の色味が異なるように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記表示制御手段は、動画と静止画の両方を記録するセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムの背景の色味が、静止画のみのセルフタイマー撮影と同じになるように制御することを特徴とする請求項 8 に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記静止画のセルフタイマー撮影と前記動画のセルフタイマー撮影とで、表示に使用されない発光部がカウントダウン中に行う発光が異なることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 11】

動画と静止画の両方を記録するセルフタイマー撮影のカウントダウン中に行われる前記発光部の発光は、静止画のみのセルフタイマー撮影と同じであることを特徴とする請求項 10 に記載の電子機器。

【請求項 12】

前記表示制御手段は、前記静止画のセルフタイマー撮影において、静止画撮影を示す第 1 のアイテムをさらに表示し、前記動画のセルフタイマー撮影において、動画撮影を示す第 2 のアイテムをさらに表示するように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 13】

前記第 1 のアイテムは、前記静止画撮影を示す文字列を含み、
前記第 2 のアイテムは、前記動画撮影を示す文字列を含む
ことを特徴とする請求項 12 に記載の電子機器。

【請求項 14】

前記第 1 のアイテムは、前記静止画撮影を示すアイコンを含み、
前記第 2 のアイテムは、前記動画撮影を示すアイコンを含む

ことを特徴とする請求項 1 2 または 1 3 に記載の電子機器。

【請求項 1 5】

前記表示制御手段は、前記静止画撮影を示すアイコンを静止表示し、前記動画撮影を示すアイコンを動画表示する

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の電子機器。

【請求項 1 6】

前記表示制御手段は、動画と静止画の両方を記録するセルフタイマー撮影において、動画と静止画の両方を記録する撮影または静止画撮影を示す第 3 のアイテムをさらに表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 2 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 1 7】

前記第 3 のアイテムは、動画と静止画の両方を記録する撮影を示す文字列を含む

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の電子機器。

【請求項 1 8】

前記第 3 のアイテムは、前記静止画撮影を示すアイコンと前記動画撮影を示すアイコンとの両方を含む、または、前記動画撮影を示すアイコンを含まずに前記静止画撮影を示すアイコンを含む

ことを特徴とする請求項 1 6 または 1 7 に記載の電子機器。

【請求項 1 9】

前記表示制御手段は、前記静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示面の上下方向における中央部分には表示せず、前記動画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを前記中央部分に表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 1 8 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 2 0】

前記表示制御手段は、前記静止画のセルフタイマー撮影において、自分撮りモードの場合に、そうでない場合よりも大きいサイズでカウントダウン用のアイテムを表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 2 1】

静止画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて静止画の撮影を行うように制御し、

動画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて動画の記録を開始するように制御するステップと、

静止画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、計時前には表示されていない、静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示し、

動画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、前記静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムとは異なる表示形態のアイテムであって、計時前には表示されていない、動画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示するように制御するステップと、

を有することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 2 2】

コンピュータを、請求項 1 乃至 2 0 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 2 3】

コンピュータを、請求項 1 乃至 2 0 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の電子機器は、静止画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて静止画の撮影を行うように制御し、動画の撮影指示に応じてセルフタイマーの計時を開始し、セルフタイマーの満了に応じて動画の記録を開始するように制御する制御手段と、静止画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、計時前には表示されていない、静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示し、動画の撮影指示に応じたセルフタイマーの計時中には、前記静止画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムとは異なる表示形態のアイテムであって、計時前には表示されていない、動画のセルフタイマー撮影のカウントダウン用のアイテムを表示するように制御する表示制御手段と、 を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0128

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0128】

ステップS614では、システム制御部50は、プラスムービーセルフタイマー設定画面（プラスムービーセルフタイマーを設定するための設定画面）を表示部28に表示する。図9(c)は、プラスムービーセルフタイマー設定画面の一例を示す。図9(c)の画面では、LV画像701とアイテム921～924が表示される。アイテム921は、プラスムービーセルフタイマーの設定（プラスムービーセルフタイマーの時間や有効/無効など）を示す文字列（ガイダンス）である。アイテム922～924は、プラスムービーセルフタイマーの設定の選択肢である。選択肢922は、プラスムービーセルフタイマーを有効かつ10秒とするための選択肢であり、選択肢923は、プラスムービーセルフタイマーを有効かつ2秒とするための選択肢である。そして、選択肢924は、プラスムービーセルフタイマーを無効とするための選択肢である。ユーザーは、選択肢922～924のいずれかを選択してプラスムービーセルフタイマーの設定を行うことができる。選択肢922～924のいずれかを選択してプラスムービーセルフタイマーの設定が変わると、選ばれた選択肢に応じて文字列921も変わる。なお、所定の範囲（20秒以下の範囲）の任意の時間がプラスムービーセルフタイマーの時間として設定できてよい。